学校番号	219

平成31年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高校音楽Ⅰ改訂版「Music View」（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を創作すること」「音楽を鑑賞すること」の4つの分野を年間通して学びます。年間のうち日本の音楽伝統文化（箏）も学びます。
・授業では教科書、ファイル、筆記用具、リコーダー等の指示した楽器を持参してください。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートの内容、実技テスト、個人やグループで取り組む課題やレポートにより評価します。音楽の授業は人との関わりや協力により成り立っています。個人の技術や知識を高めるとともに、音楽を一緒になって学ぶ仲間とともに協力し合いながら、互いに感性を高め合って、自分らしい音楽の表現力と聴く力、音楽の良さを理解できる力を身に付けます。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 ワークシート グループ発表	観察 ワークシート 実技テスト 提出作品	観察 実技テスト 提出作品	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	豊かな歌声をめざしてイメージをもって歌おう！	【歌唱】 ◆声のウォーミングアップ曲 ①校歌 ②世界に一つだけの花 ◆アーティストを知ろう～SEKAI NO OWARI～ ①花鳥風月 ②RPG ◆J-POP の構造を知ろう ①風が吹いている	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、のびのびとした声で歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素や楽曲の背景を知覚し、それらの働きが生み出す曲想を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱技術を身につけている。	観察 ワークシート 実技テスト
	楽器の世界～リコーダーに挑戦～	【器楽】アルトリコーダー ①パッヘンベルのカノン ②アニメ・メドレー ③練習曲	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その特徴を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:原曲の音色やフレーズを考えて演奏できる。 c:楽譜を正しく読み取り、自分一人で音として再現でき、曲想に合わせた表現ができる。	観察 ワークシート 実技テスト
	音楽の仕組みを聴いてみよう	【鑑賞】 ①パッヘンベルのカノン ②ボレロ	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに興味をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2	声の魅力を探ろう	【歌唱】(独唱・合唱) ①故郷 ②Caro mio ben ③大地讃頌	○	○	○		a:イタリア語や諸外国の言葉の特性を味わったり、合唱の良さを曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりを感じ取りながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:ジャンルの違いによる発声法や音楽表現の多様性を味わうとともに、曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現を工夫することができる。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱技術を身につけている。	観察 ワークシート 実技テスト
	楽器の世界～ギター・箏に挑戦～	【器楽】ギター ①音階練習曲 ②グリーガーのメヌエット ③茶色の小びん ④「第三の男」のテーマ 【器楽】箏 ①荒城の月 ②さくらさくら	○ ○	○ ○	○ ○		a:他者と協力して支え合い、アンサンブルの良さを演奏する学習に仲間とともに主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の音色や奏法の関わりについて知覚し、表現意図をもっている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 実技テスト
3	楽器の世界～ピアノに挑戦～	【器楽】ピアノ連弾 ①バイエル ②ぐるぐるピアノ 【鑑賞】 ①ショパン ②リスト ③連弾曲 【創作】 自由曲(連弾)のアレンジ 【鑑賞】 自由曲(連弾)の発表・相互鑑賞	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	 ○ ○	a:連弾に関心をもち、グループで協力しながら課題に積極的に取り組んでいる。 b-1: 楽器の音色や奏法の関わりについて知覚し、表現意図をもっている。 b-2:音楽の特徴に関心をもち、曲のイメージを創作する際、与えられた条件の中で創作意図をもっている。 c:複雑なリズムを自力で譜読みして正しく音に再現することができ、曲想に合わせた表現ができる。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、これらの価値を考え、音楽の理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 実技テスト レポート 提出作品

曲目は生徒の実態に合わせて変更する場合があります。